

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをさげすましましょう

向日市地域防災計画を強化



防災会議であいさつする民秋市長

同会議には、向日市・京 万全を期したい」とあいさ 都府向日町地方振興局・向 日町警察署・向日市消防本 部などの関係機関から21人 が出席しました。席上で民 秋市長は「今年度は長野県で 大きな災害があったが、幸 練について審議が行われ、 い向日市では大きな災害に 見舞われたことはありませ ん。今後も災害への備えに ました。

向日市地域防災計画の修

向日市防災会議が8月1日、向日市 民会館で開かれ、気象情報など予・警 報の伝達についての災害予防計画や、 災害警戒本部を新たに設置する組織計 画、災害対策本部要員の標準動員を定 めた動員計画を盛り込んだ向日市地域 防災計画案などが承認されました。 また昭和60年度の総合防災訓練を、 この30日実施します。

災害に備え よりち密な対応策を

低い!! 火災発生率

過去5年上半期の火災 発生件数は、昭和56年3件、57年4件、58年3件、59年2件、60年1件と、ここ数年 低い発生率を 保っています。これは市民 一人ひとりの 防火思想の水 準の高さと、 一般家庭の防 火診断や事業 所に対する予

年別上半期 火災状況比較表

火災件数	焼損面積				1件当り焼損面積(㎡)
	損害見積額(千円)	建物	林野(a)	その他(b)	
56年	3	3,313,000	33	—	100.4
57年	4	1,026,000	7	—	256.5
58年	3	1,121,000	13	—	86.2
59年	2	3,364,000	—	—	1682.0
60年	1	3,364,000	—	—	3364.0

過去5年上半期の火災 発生件数は、昭和56年3件、57年4件、58年3件、59年2件、60年1件と、ここ数年 低い発生率を 保っています。これは市民 一人ひとりの 防火思想の水 準の高さと、 一般家庭の防 火診断や事業 所に対する予

正された内容の主なもの 洪水時の被害の軽減を図 るための河川情報を受け入 れる伝達方法の変更、災害 対策本部設置以前の体制と して、災害警戒本部を設け るとともに、災害対策本部 などの設置基準の明確化、 災害警戒本部および災害対 策本部要員の動員基準を定 めたことなどです。

向日市地域防災計画は、 災害対策基本法を受けて向 日市地域の防災について総 合的かつ計画的に実施する ことや、防災の万全を期し 公共の福祉を確保すること を目的として昭和40年に策 定されました。

その後、災害の形態や環 境の変化を考慮しながら、 毎年計画の部分的な修正を 行い今日に至っています。

過去の例から大地震で 怖いのは火災。地震を感じ たらすばやく火の始末 をする。

まずわが身の 安全をはかれ

丈夫なテーブル、机な どの下に身をかくして、 しばらく様子を見る。

あわてて戸外に 飛び出すな

どんな大きな地震でも 大揺れは1分程度といわ れている。あわてて外に 飛び出すと、落下物によ り負傷するなど危険が多 いので、周囲の状況をよ く確かめて落ちついて行 動する。

避難は徒歩で 持ち物は最小に

大火災などで避難を行 うときは、消火、救急救 護活動などの障害となる

地震が発生したら 心得 8カ条

- 1 素早く火の始末
- 2 過去の例から大地震で怖いのは火災。地震を感じたらすばやく火の始末をする。
- 3 まずわが身の安全をはかれ
- 4 丈夫なテーブル、机などの下に身をかくして、しばらく様子を見る。
- 5 あわてて戸外に飛び出すな
- 6 どんな大きな地震でも大揺れは1分程度といわれている。あわてて外に飛び出すと、落下物により負傷するなど危険が多いので、周囲の状況をよく確かめて落ちついて行動する。
- 7 避難は徒歩で
- 8 持ち物は最小に
- 9 大火災などで避難を行うときは、消火、救急救助活動などの障害となる
- 10 協力があつて
- 11 応急救護
- 12 火が出たら
- 13 衛生に注意
- 14 秩序を守り
- 15 身勝手な行動をとらず秩序を守ろう。
- 16 伝染病が発生するおそれがあるので衛生には十分注意する。
- 17 正しい情報をつかみ
- 18 余震を恐れるな
- 19 市役所、消防署、警察などの指示に従って行動する。
- 20 一般的に余震は本震より小さいといわれているが、余震には十分注意し沈着な行動をとる。
- 21 自動車の絶対に使わず徒歩で避難する
- 22 持ち物は最小限にとどめ、背おうなどして身軽に行動できるよう両手をあける。
- 23 正しい情報をつかみ
- 24 余震を恐れるな
- 25 市役所、消防署、警察などの指示に従って行動する。
- 26 一般的に余震は本震より小さいといわれているが、余震には十分注意し沈着な行動をとる。

向日市総合防災訓練



車両火災の消火訓練

8月30日(金)

午前9時30分～

第6 向陽小学校

今回の総合防災訓練は、地震災害を想定して、住民の避難や被災者の救助、救出、ガス、電話施設の応急復旧活動など、防災関係機関の連携のもとに行うものです。

市民のみなさんもこの機会に忘れず火の始末の習慣をつけ、万一の災害に備える機会としてください。

訓練会場周辺のみなさんには、当日は訓練車両などでご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

なお、当日午前9時30分に訓練開始の合図として市内全域でサイレンを吹鳴します。